

環境部

事業名	地球温暖化対策業務・環境教育推進業務		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第4章 第1節 自然環境の保全		
担当課名	環境政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下関市域の温室効果ガスの排出量を削減するため、6つの基本施策を柱とし、40の施策・事業について取り組む。特に、重点プロジェクトのうち、クールビズ・ウォームビズやエコドライブの推進に取り組む「クールチョイスしものせき」や、サマー・キッズエコ講座や菜の花プロジェクト、環境教室等を開催する「クールスタディーしものせき」に重点的に取り組む。

また、下関市が実施する全ての事務事業にかかる温室効果ガスの排出量を削減するため、公共施設における照明のLED化や空調の効率化等に取り組む。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
下関市域の温室効果ガス総排出量（区域施策編）	千t-CO ₂	3,361	3,391	3,299	2,467
下関市が実施する事務事業からの温室効果ガス総排出量（事務事業編）	千t-CO ₂	139	118	114	78

◆参考情報

【目標】

第2次下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

～クールしものせき アクションプラン203030～

下関市域における2030年度の温室効果ガス排出量

⇒（2013年度比）30%削減

第3次下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

下関市が実施する全ての事務事業にかかる2030年度の温室効果ガス排出量

⇒（2013年度比）40%削減

◆予算情報

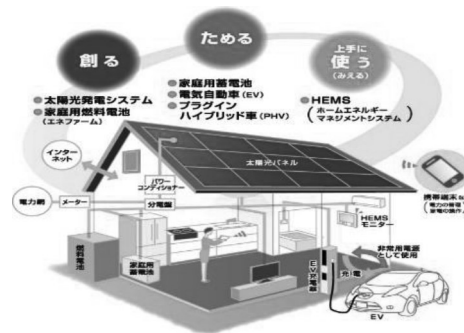
（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		10,715	6,268	3,667	未定	未定
主要な経費	温暖化対策業務（ウォームビズ、エコドライブ等）	9,150	4,772	2,216		
	環境教育業務（サマー・キッズエコ講座、菜の花プロジェクト等）	1,565	1,496	1,451		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源（諸収入）	7,130	2,550	1,050		
	一般財源	3,585	3,718	2,617		

事業名	次世代エネルギー利活用推進業務		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第4章 第1節 自然環境の保全		
担当課名	環境政策課	開始年度	平成27年度

◆事業の概要

省エネルギー機器や高効率機器の普及促進を図るため、家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ機器を設置する市民に対してスマートハウス普及促進補助金を交付する。(燃料電池コージェネレーションシステムは、今年度から既築住宅への設置に限る。)
また、市内5か所の電気自動車急速充電器の維持管理を行う。



◆事業の目標指標 (活動指標)

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
燃料電池コージェネレーションシステム補助件数 (累計)	件	188	250	300	775
定置用リチウムイオン蓄電システム補助件数 (累計)	件	47	67	87	283

◆参考情報

令和3年度スマートハウス普及促進補助金 補助金額

補助対象システム	補助金額
燃料電池コージェネレーションシステム	機器本体額の1/5又は8万円のいずれか少ない額
定置用リチウムイオン蓄電システム	蓄電容量1kWあたり2万円 (補助上限額20万円)
家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	機器本体額の1/5又は2万円のいずれか少ない額
電気自動車等充電設備 (V2H)	機器本体額の1/5又は5万円のいずれか少ない額

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		18,921	11,621	12,234	未定	未定
主要な経費	スマートハウス普及促進補助金	5,865	6,600	7,000		
	電気自動車急速充電器維持管理	12,377	4,378	4,130		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (諸収入)		139	1,409		
	一般財源	18,921	11,482	10,825		

事業名	地域連携・低炭素水素技術実証事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第4章 第1節 自然環境の保全		
担当課名	環境政策課	開始年度	平成27年度

◆事業の概要

環境省の委託事業として実施する当事業は、山口県の周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場から発生する未利用・高純度の副生水素を回収し、周南地域で利用するとともに、当該水素を液化し、下関地域に輸送し利用する地域モデル実証を行っている。

引き続き、純水素燃料電池、純水素ボイラー及び燃料電池自動車を活用した実証事業を行うとともに、今年度実証が終了するため、年度内に実証施設の撤去等を行う。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
実証機器台数	台	4	3	3	3

◆参考情報

下関地域の実施スケジュール

実証項目	実施年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
水素広域輸送モデル構築、水素利用形態検討		▶						
簡易型水素供給設備の設置・運用			▶					▶
燃料電池自動車（1台）の実証				▶				▶
燃料電池フォークリフト（2台）の実証					▶			
純水素燃料電池（1台）の実証				▶				▶
純水素ボイラー（1台）の実証						▶		▶
実証施設等の撤去								▶

◆予算情報

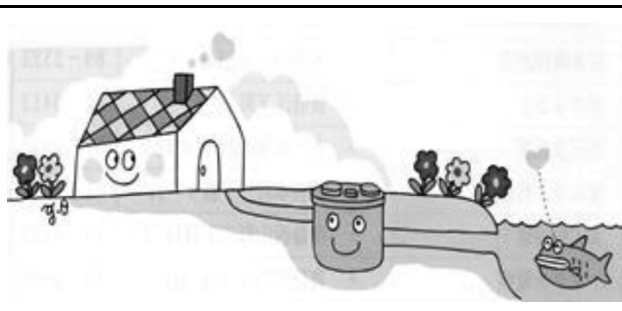
(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		59,414	30,217	65,415		
主要な経費	実証事業経費	59,414	30,217	65,415		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (諸収入)	59,414	30,217	65,415		
	一般財源					

事業名	下関市新合理化事業計画策定業務		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 し尿処理費		
総合計画の体系	第4章 第3節 廃棄物処理の推進		
担当課名	廃棄物対策課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

下水道の整備等により業務の減少等の影響を受ける、し尿処理業、浄化槽清掃業に係る事業者に対し、新合理化事業計画を策定して支援を行うことにより、その業務の安定を保持し、将来にわたる廃棄物の適正な処理体制を確保する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
新合理化事業計画推進協議会の設置及び開催	回	2	3	3	未定

◆参考情報

本市における合理化事業計画の策定・実施状況

地区	し尿	浄化槽汚泥	地区	し尿	浄化槽汚泥
旧下関市	策定・実施済 H15. 2～H20. 3	未策定	旧菊川町 旧豊田町 旧豊浦町 旧豊北町	未策定	未策定
	6許可業者→委託	17許可業者		6許可業者	5許可業者

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		972	1,800	1,411		
主要な経費	調査委託（基礎資料作成業務等）	972	1,800			
	資料作成委託（計画承認申請補助業務等）			1,411		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	972	1,800	1,411		

事業名	廃棄物減量等推進業務		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 清掃総務費		
総合計画の体系	第4章 第3節 廃棄物処理の推進		
担当課名	クリーン推進課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

地球環境に負荷の少ない循環型社会の形成を実現するため、生ごみ堆肥化容器購入費補助金の交付、再資源化推進事業奨励金の交付、親子リサイクル教室の開催、ごみ百科の作成等の事業を実施することにより、4つのR（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ）の啓発、ごみの分別の徹底、生ごみ・食品ロスの削減、事業系ごみの削減及び適正処理を推進し、「下関市一般廃棄物処理基本計画」に定める目標の達成を目指す。令和3年度は令和4年度の同計画の中間見直しに必要な基礎データを収集するため、ごみ組成調査を実施する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	1,039	1,019	1,013	980

◆参考情報

事業実績		H27	H28	H29	H30	R1
生ごみ堆肥化容器 購入費補助金	土地埋め込み式（基）	21	17	16	9	22
	電気式（基）	26	29	19	23	18
	合計	47	46	35	32	40
再資源化推進 事業奨励金	実施団体数（団体）	312	304	304	299	286
	再資源化量（t）	5,058	4,387	4,339	3,927	3,777

【下関市一般廃棄物処理基本計画】
計画期間：平成30年度～令和9年度

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		18,147	20,771	24,289	未定	未定
主要な経費	生ごみ堆肥化容器 購入費補助金	351	500	600		
	再資源化推進事業 奨励金	15,110	16,533	16,000		
	ごみ組成調査			2,300		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 （諸収入）	370	376	376		
	一般財源	17,777	20,395	23,913		

		担当課名	クリーン推進課
事業名	指定ごみ袋作製委託業務		
事業概要	ごみ処理については、市民や事業者との連携のもと、ごみの分別の徹底を行うことで、再資源化率を上昇させるとともに、排出量を削減することが肝要であり、ごみの分別の推進のため、指定ごみ袋の作製を行っている。		
見直し内容	それぞれの指定ごみ袋のサイズで厚さを見直し、作製経費を抑えた。		
効果額	4,294千円		

		担当課名	クリーン推進課
事業名	豊北集約槽し尿等運搬管理業務委託		
事業概要	豊北中継貯留槽に貯留されたし尿等を運搬車4台にて環境部彦島工場まで搬入する。		
見直し内容	主に人件費の積算根拠を精査し、委託料を削減した。		
効果額	1,177千円		

産業振興部

事業名	創業トータルサポート業務		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度

◆事業の概要

創業支援カフェKARASTA、(カラスト)に空き店舗のマッチングステーションGRESTA、(グリスタ)の機能を統合した上で、創業支援プログラムによる潜在的な創業希望者の発掘や顕在的な創業希望者の育成をはじめ、空き店舗情報の収集やデータベース更新、物件所有者と出店希望者とのマッチングなど、「創業から開店まで」の一貫した支援を行うワンストップ窓口を整備し、創業増加による雇用の創出と商店街の活性化を図る。



◆事業の目標指標 (活動指標)

指標説明		単位	R1		R2		R3		最終年度	
創業件数	空き店舗マッチング件数	件	13	7	12	7	15	7	15	7

◆参考情報

【令和2年度(11月まで)事業概要】
 カラスト：来場者 2,241人、創業相談 139人、創業件数 15件、セミナー等開催状況 12回
 グリスタ：来場者 1,008人、相談件数 35人、物件相談 24件、セミナー等開催状況 2回

【令和3年度事業概要】
 新型コロナウイルス等への対応として、セミナーは、対面(来店)受講とZOOMやYouTubeを活用したオンライン(遠隔)受講との選択性を採用する。⇒UIJターン創業者の支援や課題解決につながる専門家(中小企業診断士)を招聘し、より重層的な創業相談を実施する。

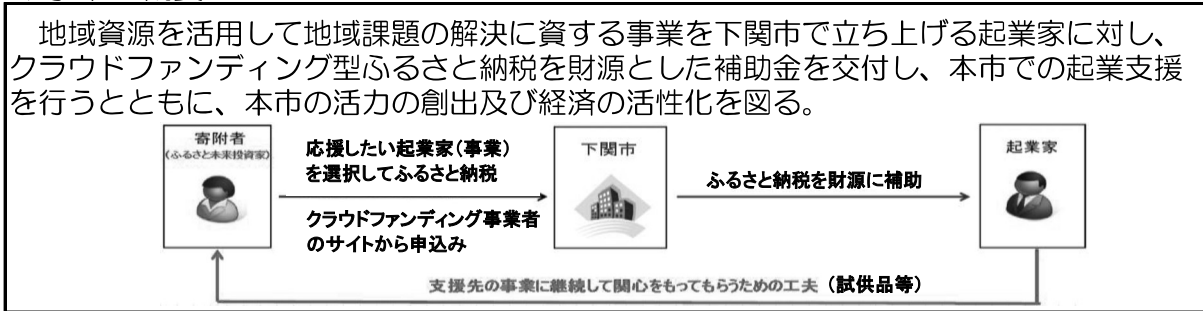
◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		23,230	23,230	12,700	12,700	12,700
主要な経費	委託料(創業支援)	13,100	13,100			
	委託料(遊休不動産マッチング)	10,130	10,130			
	委託料(トータルサポート)			12,700	12,700	12,700
財源	国庫・県支出金	11,615	11,615			
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	11,615	11,615	12,700	12,700	12,700

事業名	ふるさと起業家支援補助金		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要



◆事業の目標指標 (活動指標)

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
事業実施件数	件	3	4	4	4

◆参考情報

【制度概要】
 補助対象事業 地域資源の活用又は地域課題の解決に資する事業
 対象事業者 市内に事業所を有する法人又は住所を有する個人（事業開始後5年以内の者又は既存事業者（新事業展開の場合））
 対象経費 初期投資、活動経費（ハード・ソフト可）（人件費、資本金は対象外）
 補助対象期間 認定日実施の日から当該年度末まで（複数年度にわたる事業の場合、当該年度の計画部分を対象）
 事業の審査 外部有識者等で構成される審査会により、事業内容等について審査を実施する。
 起業家の募集 HP掲載等による一般公募のほか創業支援カフェ KARASTA（カラスト）や創業支援連携会等を活用する。
 寄附金の募集手法 クラウドファンディングサイトを通じて寄附金を募集する。

【令和2年度実施事業】
 下関市から関門海峡初の農産物ブランド「海峡レモン」を作り、レモンが香る海峡のまちとして、本市のイメージアップ、農業を通じた地域産業の活性化を図る。

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		15,613	20,000	20,000	未定	未定
主要な経費	役務費	45	200	200		
	委託料	3,123	4,000	4,000		
	補助金	12,427	15,800	15,800		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (寄附金)	15,613	20,000	20,000		
	一般財源					

事業名	地域資源活用促進事業		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成26年度

◆事業の概要

本市の地域資源を活用して新商品を開発する中小企業者の取り組みに対し、商品開発、販路開拓等、入口から出口までの一貫した支援を行うことで、経営革新と基盤の強化とともに、地場産業の活性化を図る。

- (1) 地域資源活用促進補助事業
- (2) 補助金事業化サポート事業



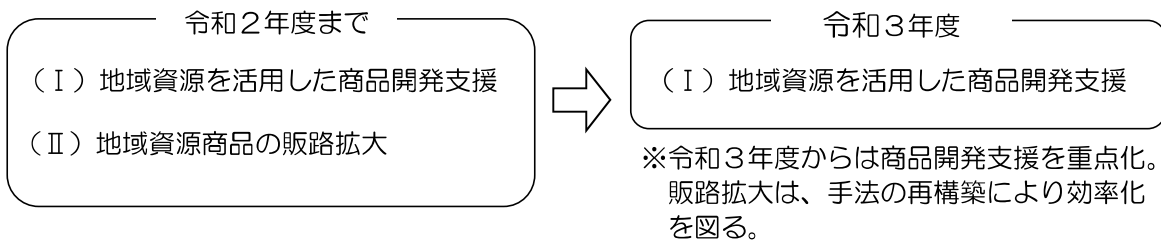
日本遺産関門“ノスタルジック”海峽を紹介する下関銘菓（令和2年度認定事業）

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
新商品開発件数	件	10	10	10	10

◆参考情報

○地域資源活用促進事業の事業構成イメージ



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		22,859	21,000	6,000	未定	未定
主要な経費	委託料	17,500	16,000	1,000		
	補助金	5,000	5,000	5,000		
	旅費	359				
財源	国庫・県支出金	11,250	10,500	3,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	11,609	10,500	3,000		

事業名	エキマチ広場周辺にぎわい創出イベント企画運営業務		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

エキマチ広場周辺の公共空間やオープンスペースでのイベント開催を通じて、エキマチ広場周辺の魅力向上を図るとともに、幅広い層の下関駅前への来訪を促し、継続的にぎわいによる周辺商業施設等への波及効果を目指す。

エリアの魅力を高め幅広い年齢層（特に若年層やファミリー層）を取り込むべく、今後も市民の期待に沿うような、エキマチ広場周辺のにぎわい創出につながる事業を実施していく。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
歩行者通行量 (休日、下関駅にぎわいプロジェクト地区)	人	16,388	20,437	20,437	20,437

◆参考情報

<p>【令和2年度事業概要】</p> <p>①健康増進イベント：エキマチウォーキングin下関 (下関出身の専門講師による正しい歩き方講座)</p> <p>②飲食イベント：EKIMACHI BEER GARDEN (シーモール前歩道でのキッチンカーと屋台による飲食イベント)</p> <p>③福祉関係団体と連携したイベント：エキマチうきうきフェスタ (障害者支援活動の普及啓発イベント) ※R3.2開催予定</p> <p>④その他イベント：関門海峡キャンドルナイト2020、ランチタイムコンサート&ハンドメイドマーケット、エキマチオータムフェスタ</p> <p>【令和3年度事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子で参加できるダンスイベントや中高生、大学生を対象としたミュージックフェスなど、幅広い年齢層を取り込めるイベント コーディネーター配置による事務局の運営体制強化やノウハウの蓄積 など 	<p>【歩行者通行量推移】 (休日・下関駅にぎわいプロジェクト地区)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>通行量(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>15,308</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19,224</td></tr> <tr><td>H28</td><td>18,297</td></tr> <tr><td>H29</td><td>17,455</td></tr> <tr><td>H30</td><td>19,127</td></tr> <tr><td>R元</td><td>16,388</td></tr> <tr><td>R2</td><td>14,066</td></tr> </tbody> </table>	年度	通行量(人)	H26	15,308	H27	19,224	H28	18,297	H29	17,455	H30	19,127	R元	16,388	R2	14,066
年度	通行量(人)																
H26	15,308																
H27	19,224																
H28	18,297																
H29	17,455																
H30	19,127																
R元	16,388																
R2	14,066																

◆予算情報


(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		3,998	5,800	5,800	5,800	5,800
主要な経費	委託料	3,998	5,800	5,800	5,800	5,800
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		5,000			
	一般財源	3,998	800	5,800	5,800	5,800

事業名	フードイベント開催事業費負担金		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

本市は、鮮度抜群の地元食材に恵まれた「食」の宝庫であり、その食材を活かした素晴らしい料理、店が多数ある。
 そこで、市内の店が集まり、「しものせき海響グルメフェス」を開催することで、市内外の方に「下関の食（材）」を堪能していただき、「食のまち下関」のPR、交流人口の拡大及び地域経済の活性化につなげる。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
来場者数	人	15,000	10,000	15,000	15,000

◆参考情報

【令和2年度事業概要】

- 名称：しものせき海響グルメフェス2020
- 主催：しものせき海響グルメフェス実行委員会（下関市、下関飲食組合、下関旅館ホテル協同組合、下関観光コンベンション協会、山口県すし商生活衛生同業組合、下関商工会議所、下関青年会議所、下関商工会議所青年部、下関21世紀協会）
- 内容：下関の「食」をテーマにした飲食店の出店
感染症対策のため、テイクアウトメニューを販売する形式で開催
- 開催日時：令和2年10月31日（土）・11月1日（日）11：30～完売次第終了
- 開催場所：海峡メッセ展示見本市会場、オーヴィジョン海峡ゆめ広場
- 出店者数：市内飲食業者を中心とした30店舗

【令和3年度事業概要】
「新しい生活様式」に対応した販売方法を取り入れるなど、時勢に応じた開催方法を模索する。

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		7,000	8,400	8,000	8,000	8,000
主要な経費	負担金	7,000	8,400	8,000	8,000	8,000
財源	国庫・県支出金		3,000	3,000	2,000	
	市債					
	その他特定財源（諸収入）		1,000	1,000	666	
	一般財源	7,000	4,400	4,000	5,334	8,000

事業名	下関地域商社／海外販路開拓支援事業		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 貿易振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度

◆事業の概要

海外事業展開を志向する市内中小企業に対し、擬似的な貿易商社「下関地域商社」を構成する市と連携した「産・官・学・金」の各主体がノウハウを持ち寄り、情報収集から貿易実施に至るまでの支援を行うことで、スムーズかつ効果的な海外への販路拡大を図る。

(1) アドバイザー招致
 (2) オンライン商談プロジェクト
 (3) 商談会等開催
 (4) 専用サイト機能拡充・運営
 (5) 展示会出展支援

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
展示会参加企業数	社	17	10	16	20
成約件数	件	16	15	16	20

◆参考情報

○令和2年度実施事業（R3年1月まで）

- 海外販路開拓支援事業
 - ① 越境ECバイヤー商談（オンライン）
時期：R2年7月
参加企業：市内企業10社
 - ② 商流構築商談会（オンライン）
時期：R2年10月
参加企業：市内企業10社
 - ③ 即日輸送実証実験／テストマーケティング（シンガポール）
時期：R3年1月
- 輸出展示商談会参加
 - ① 沖縄大交易会 2020
時期：R2年10月～R3年2月（オンライン）
参加企業：市内企業5社
- 専用ウェブサイト運営
- 下関地域商社アドバイザーによるセミナー開催

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		12,061	15,800	13,136	未定	未定
主要な経費	委託料	10,165	13,300	11,200		
	旅費	1,246	1,700	1,136		
	報償費	650	800	800		
財源	国庫・県支出金	5,890	7,500	6,450		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,171	8,300	6,686		

事業名	しものせき未来創造jobフェア等開催事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第2章 第3節 就業支援策の強化		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	平成29年度

◆事業の概要

中高生等に働くことの意義や地元就職への意識を醸成するため、地元企業の魅力が体験できる機会等を提供する。
 事業内容としては、地元企業・団体の活動を分かりやすく紹介し、仕事の魅力や地域社会との関わり等を体験することで、働くことの意味やビジョンを描くとともに、進学後の“下関市での就職”までを意識した「集合型職業体験イベント」を開催するほか、大学生等を対象としたインターンシップ事業や、小学生等を対象としたSTEMプログラムを実施する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
しものせき未来創造jobフェア 来場者数	人	5,287	5,300 (中止)	5,300	

◆参考情報

◎令和2年度 コロナにより中止
 ◎令和元年度実施状況
 期日：令和元年8月21,22日
 会場：海峡メッセ下関
 出展：企業、団体等…48団体
 参加：5,287人(学生2,669人)
 ※中学校 23校 高等学校 5校
 インターンシップ 8社 26人
 STEMプログラム
 (ワークショップ) 120人



◆予算情報

(単位：千円)


年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		21,590	21,600	20,000	未定	未定
主要な経費	委託料	21,590	21,600	20,000		
財源	国庫・県支出金	10,795	10,800	10,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	10,795	10,800	10,000		

事業名	若者の地元就職支援事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第2章 第3節 就業支援策の強化		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	平成28年度

◆事業の概要

新規大学等卒業予定者の地元就職を促進し、産業を担う労働力人口を確保するため、就職支援を実施する。

事業内容としては、「しものせきjob netアプリ」の運用による情報発信をするほか、地元就職希望者に対してWEB合同企業説明会等の開催、個別マッチング等を実施する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
就職決定者数	人	23	50	50	

◆参考情報

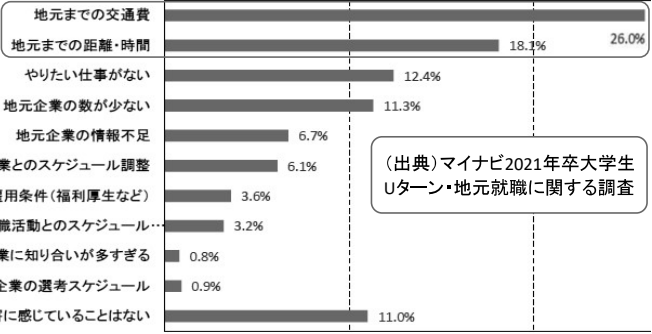
《地元外進学者が、地元企業への就職活動で最も障害に感じていること》

↓

「地元までの交通費（26.0%）」
「地元までの距離・時間（18.1%）」

↓

WEB合同企業説明会等のオンラインのイベントは、学生が移動を伴わず手軽に参加できるため、地元就職促進に有効であると考えられる。



項目	割合
地元までの交通費	26.0%
地元までの距離・時間	18.1%
やりたい仕事がない	12.4%
地元企業数が少ない	11.3%
地元企業の情報不足	6.7%
学業とのスケジュール調整	6.1%
地元企業の雇用条件(福利厚生など)	3.6%
地元以外での就職活動とのスケジュール調整	3.2%
地元企業に知り合いが多すぎる	0.8%
地元企業の選考スケジュール	0.9%
特に障害に感じていることはない	11.0%

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		12,898	10,000	5,000	未定	未定
主要な経費	委託料	12,898	10,000	2,500		
財源	国庫・県支出金	6,449	5,000	2,500		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,449	5,000	2,500		

事業名	就職氷河期世代等支援事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第2章 第3節 就業支援策の強化		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

就職氷河期世代を含む幅広い年齢層の求職者に活躍の場を広げ、市内中小企業の課題である人手不足に対応するため、両者のマッチング支援を展開する。

事業内容としては、企業を対象とした人材活用セミナー、求職者のビジネススキル向上のための研修プログラム、職場体験を実施し、それらを就職に繋げるための就職説明会を開催する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
就職決定者数	人		30	30	

◆参考情報

就活のなかであると嬉しい支援
(単位: %)

就業体験・研修	22.7
職業あつせん先の見学	21.0
職業あつせん先の応募書類作成	20.2
個別カウンセリング	18.4
自己理解・自己分析	16.6
面談対策実践	14.5
さまざまな職業を理解する座学	12.8
コミュニケーション研修	11.6
現在の労働市場を理解する座学	9.7

出典:ディップ総合研究所調査(R2年11月)
対象:35歳~54歳の学生を除く有期雇用
就業者または無職求職者(1667人)

●左の調査結果から 就活のなかであると嬉しい支援は
〔具体的には〕・就業先の体験、見学
・個別カウンセリング
↓
「就職に繋がる支援」として、**職場体験や研修プログラム**
は有効であると考えられる。

●就職氷河期とは？
・就職が特に困難な時期(概ね平成5年~16年)に
学校卒業期を迎えた世代
・現在も仕事が不安定、無業であるなど、様々な
課題に直面している方がいる。

◆予算情報

(単位: 千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			5,000	5,000	未定	未定
主要な経費	委託料		5,000	5,000		
財源	国庫・県支出金		3,750	3,750		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,250	1,250		

事業名	就業機会創出事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第2章 第3節 就業支援策の強化		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	平成26年度

◆事業の概要

就職を希望する女性やシニアなどの多様な人材に向け、「求職者と企業のニーズ」に応じた支援を実施することで、就業機会を創出し、雇用の促進と不足している労働力を確保する。

事業内容としては、対象年代及びテーマ別の就職説明会を行うほか、求職者に向けたオンライン化への適応力向上セミナー等を実施する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
就職決定者数	人	111	80	80	

◆参考情報

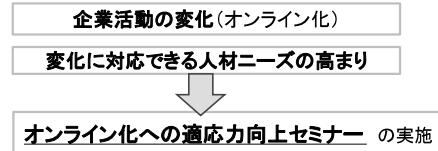
新しい生活様式に対応した商品、サービスの開発や販売
【上位5項目】

[出典]: 中国地方 新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査 (2020年9月:帝国データバンク) [母数661社]

開発や販売を検討している (%)	
①	インターネットを利用した販路拡大 11.5
2	電子決済の導入や電子決済に資する製商品、サービス 8.6
3	宅配事業や持ち帰り需要に対応した製商品、サービス 8.5
③	テレワークなど在宅勤務に資する製商品、サービス 8.5
③	オンライン会議やオンライン営業販売に資する製商品サービス 8.5

●左の調査結果から
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで...

- ・インターネットを利用した販路拡大
- ・在宅勤務に資する製商品、サービス
- ・オンライン会議・営業販売に資する製商品、サービス



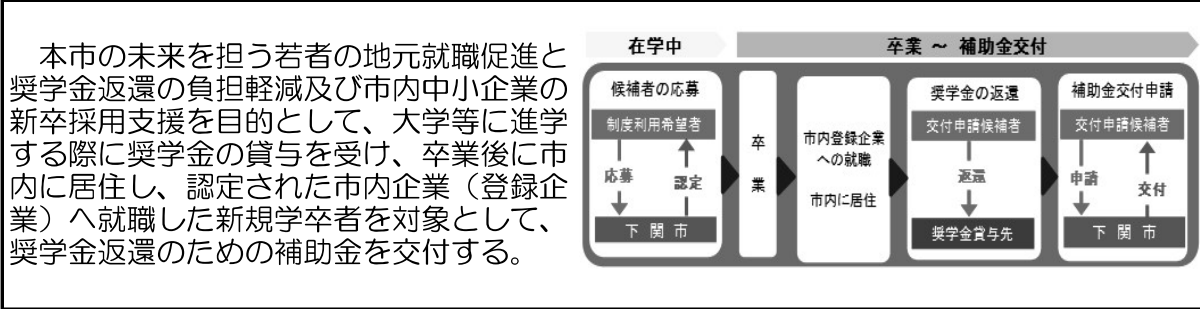
◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		10,400	8,400	8,400	未定	未定
主要な経費	委託料	10,400	8,400	8,400		
財源	国庫・県支出金	5,200	4,200	4,200		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,200	4,200	4,200		

事業名	奨学金返還支援事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第2章 第3節 就業支援策の強化		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
奨学金返還支援制度利用者数	人			100	100

◆参考情報

○登録企業 172社（R3.1.20現在）
 ○支援内容 奨学金の実返還額（年額上限12万円）を、就職2年目から5年間で最大60万円支援（ただし、奨学金貸与総額の2分の1以内の額）
 ○年度毎実施内容【R1～R4卒を対象に実施した場合】 制度利用想定：R1卒…39人、R2～R4卒…各年度100人

年度	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)
R1(2019)卒	エントリー・内定	就職	支払①	支払②	支払③	支払④	支払⑤			
R2(2020)卒		エントリー・内定	就職	支払①	支払②	支払③	支払④	支払⑤		
R3(2021)卒			エントリー・内定	就職	支払①	支払②	支払③	支払④	支払⑤	
R4(2022)卒				エントリー・内定	就職	支払①	支払②	支払③	支払④	支払⑤

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		356	2,000	5,149	未定	未定
主要な経費	補助金			4,680		
	委託料	251	1,840	300		
	事務費	105	160	169		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)			5,000		
	一般財源	356	2,000	149		

		担当課名	産業立地・就業支援課
事業名	オフィスOA化促進補助金		
事業概要	<p>事務系の仕事を求職する市民のニーズは高いが、これに応じた求人は十分でない。また、入居すべきオフィスを探す事務系業種の企業はあるものの、空きオフィスは広さや仕様が現在の企業のニーズに合っていないことから、企業の入居を前提に、機能的なオフィスを提供するための改修費用の一部を補助する。</p>		
見直し内容	<p>当該補助金は廃止し、OAフロア化の改修に特化したものではなく、事務系企業の立地に必要となるオフィス環境等の整備を目的とした改修費用の一部を補助する制度を創設し、オフィスの誘致促進を図る予定。</p>		
効果額	5,000千円		


農林水產振興部

事業名	担い手育成支援事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	農業振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

地域農業の「担い手」を育成・支援するため、集落営農法人や認定農業者、新規就農者等への各種支援を行う。

- 「人・農地プラン」の推進
- 就農円滑化対策事業
- 農業経営法人化等支援事業
- 6次産業化推進事業



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
市内における農業の担い手経営体数	経営体	268	271	274	283

◆参考情報

【事業内容】

- 「人・農地プラン」の推進
地域の話し合いにより、将来の地域農業の「担い手」を明確化する「人・農地プラン」作成に向けた取組を支援
- 就農円滑化対策事業
新規就農者に対する就農初期の経営支援や県外からの移住就農者の確保に向けた支援
- 農業経営法人化等支援事業（次世代継承型地域営農推進事業）
地域農業の新たな担い手となる地域営農組織の設立を支援
- 6次産業化推進事業
農業者で構成する団体が地元農産物を利用して製造・販売を行う6次産業化の取組に対する支援

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		33,053	37,795	25,119	25,119	25,119
主要な経費	負担金補助及び交付金	32,720	36,295	23,619	23,619	23,619
	委託料	203	843	898	898	898
財源	国庫・県支出金	30,669	23,494	14,775	14,775	14,775
	市債					
	その他特定財源 (諸収入、手数料)	5	4,013	1,513	1,513	1,513
	一般財源	2,379	10,288	8,831	8,831	8,831

事業名	有害鳥獣捕獲業務		
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	農業振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

有害鳥獣による農林作物被害の防止を図るため、侵入防止柵の設置や下関市鳥獣被害対策実施隊等による捕獲対策を促進する。

《事業内容》

- 金網柵や電気柵等の侵入防止設備の設置
- 有害鳥獣の捕獲奨励金の交付
- 大規模合同捕獲の実施
- ICT技術を活用したシカ捕獲柵による捕獲の実施
- みのりの丘ジビエセンターの運営



ICT技術を活用したシカ捕獲柵

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
有害鳥獣による農林作物被害額 (シカ、イノシシ等主要5獣)	千円	133,606	127,600	122,700	108,000

◆参考情報

有害獣の捕獲実績 (単位：頭)				ジビエセンターの処理頭数 (単位：頭)			
	H29年度	H30年度	R1年度		H29年度	H30年度	R1年度
シカ	1,467 (1,500)	1,408 (1,500)	1,578 (1,500)	シカ	612	504	512
イノシシ	725 (1,500)	896 (1,500)	940 (1,500)	イノシシ	107	204	158
サル	149 (100)	211 (100)	95 (100)	合計	719 (600)	708 (600)	670 (600)

()内は目標値



みのりの丘ジビエセンター

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		39,926	46,814	41,777	41,777	41,777
主要な経費	負担金補助及び交付金	31,164	34,194	32,589	32,589	32,589
	委託料	5,338	5,872	5,880	5,880	5,880
	事務費等	3,424	6,748	3,308	3,308	3,308
財源	国庫・県支出金	366	352	352	352	352
	市債	5,300	8,300	5,800		
	その他特定財源					
	一般財源	34,260	38,162	35,625	41,425	41,425

事業名	ニューフィッシャー確保育成推進事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	水産振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

漁業後継者の確保・育成を図るため、漁業技術等の習得や就業直後の経営の立ち上がりを支援する。
 また、新規漁業就業者が経営開始時に必要な漁船・漁具等の生産基盤設備の導入に要する経費の一部や、漁業会社等が新たに雇用した漁船乗組員の技術力向上を図るための実践的な研修に要する経費の一部を補助する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
新規漁業就業者の年間確保数	人	2	3	3	

◆参考情報

これまでの実績（平成17年度から令和2年12月末まで）

○ 新規漁業就業者数 30人 ○ 現在研修中 2人

（ 下関地区 9人
 豊浦地区 9人
 豊北地区 12人 ）

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		10,382	11,196	6,096	未定	未定
主要な経費	補助金	10,380	11,188	6,088		
	その他	2	8	8		
財源	国庫・県支出金	2,792	4,650	1,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,590	6,546	5,096		

事業名	下関漁港整備事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	水産振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

水産都市下関の中核施設である下関漁港（山口県管理の特定第3種漁港）の整備拡充、機能強化を図るため、山口県が実施する下関漁港整備事業費の一部を負担する。

◆施設の概要、計画等

●R3事業概要

- 特定漁港漁場整備事業
本港 漁港道路整備工事
- 水産物供給基盤機能保全事業
本港 機能保全工事の調査・設計
- 漁港建設改良事業
本港 周辺整備工事



下関漁港（本港）

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		406,798	238,482	82,821	173,878	未定
主要な経費	負担金	406,798	238,482	82,821	173,878	
財源	国庫・県支出金					
	市債	370,900	184,700	53,500	137,800	
	その他特定財源					
	一般財源	35,898	53,782	29,321	36,078	

事業名	くじらの街下関推進事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	水産振興課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

沖合母船式捕鯨の基地であり、母港化を目指す本市において、鯨食文化の伝承、鯨肉の消費拡大を図るため、くじら給食（10万食）を提供するとともに、鯨PRイベントや鯨肉取扱講習会の開催等、下関市鯨肉消費拡大推進協議会との官民一体となった取組を実施する。
また、新たな捕鯨母船の母港化への取組として、捕鯨船団の下関港での係船や本市への乗組員等の定住に対する支援を行う。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
商業捕鯨による鯨肉の陸揚げ量	t	—	1,000	1,000	1,000

◆参考情報

[令和2年度の主な取組]

- 下関市鯨肉消費拡大推進協議会の設立（R2. 5. 27）
 - ・飲食業や宿泊業、鯨肉加工業、観光業、行政等の18団体等で構成
 - ・鯨肉取扱講習会の開催、鯨料理店PRフラッグの作成・配布
- 母船式捕鯨船団の本市寄港（R2. 7. 29）
 - ・鯨肉陸揚げ（764 t）
- 「全国鯨フォーラム2020in下関」の開催（R2. 11. 26）
 - ・海峡メッセ下関イベントホールで開催
 - ・基調講演、パネルディスカッション（約300名が参加）

◆予算情報

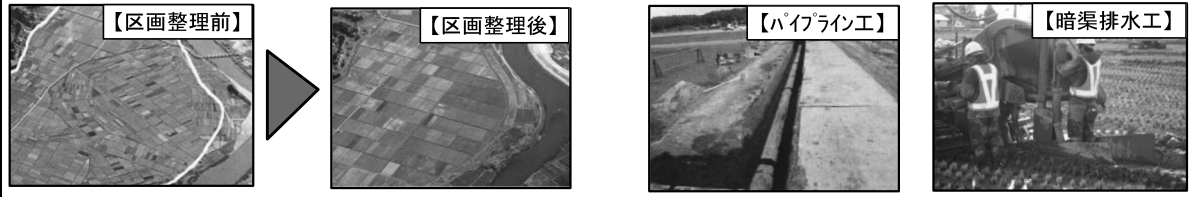
（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		13,469	21,500	17,700	17,700	17,700
主要な経費	需用費	66	280			
	委託料	8,552	10,700	5,700	5,700	5,700
	補助金	4,800	10,500	12,000	12,000	12,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 （基金繰入金）		20,000			
	一般財源	13,469	1,500	17,700	17,700	17,700

事業名	農業競争力強化基盤整備事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農地費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	農林水産整備課	開始年度	平成27年度

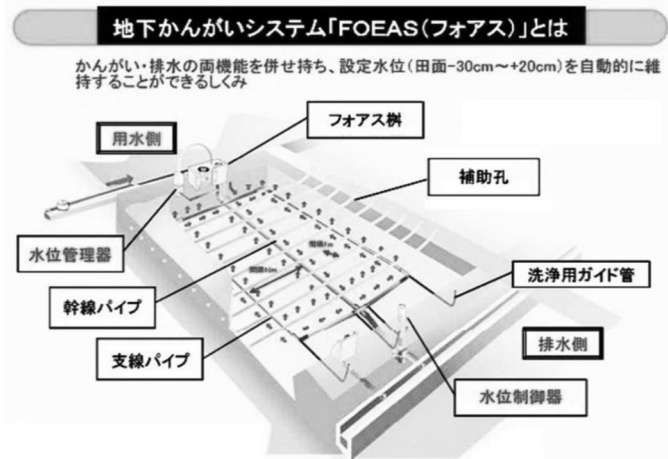
◆事業の概要

農作業の効率化や経営安定を図るため、未整備ほ場や排水不良が常態化しているほ場において、生産性向上を目指した地下かんがいシステム「FOEAS（フォアス）」等を用いたほ場整備や農道、用排水施設等の農業生産基盤の整備を計画的に実施する。



◆施設の概要、計画等

番号	管内	地区名	受益面積 (ha)	主要工事概要	予定工期
1	本庁	王喜東	54	区画整理、暗渠、防護柵	H29～R8
2	本庁	王喜白崎	25	区画整理、暗渠、パイプライン	R1～R7
3	本庁	王喜宇津井	25	区画整理、暗渠、パイプライン	R3～R9
4	本庁	内日東	93	区画整理、暗渠、パイプライン、防護柵	H29～R10
5	本庁	新田	33	区画整理、暗渠、パイプライン	H30～R7
6	本庁	諏訪	21	区画整理、暗渠、パイプライン、防護柵	H30～R7
7	本庁	肥田	27	区画整理、暗渠、パイプライン、防護柵	R2～R8
8	菊川	七見	46	暗渠、パイプライン、農道舗装、防護柵	H27～R5
9	菊川	下保木	45	暗渠、防護柵	H29～R5
10	豊田	横泉	30	暗渠、農道舗装、パイプライン、防護柵	H28～R4
11	豊北	後地・荒田	13	区画整理、暗渠、防護柵	H28～R5
12	豊北	小野朝生	47	暗渠、パイプライン、防護柵	H29～R5
			459		



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		211,374	155,267	96,666	260,650	141,007
主要な経費	負担金	211,374	155,267	96,666	260,650	141,007
財源	国庫・県支出金					
	市債	112,500	135,200	70,900	175,500	86,100
	その他特定財源(分担金)	6,492	3,000	7,500		
	一般財源	92,382	17,067	18,266	85,150	54,907

事業名	森林経営管理制度(意向調査・集積計画作成)業務		
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	農林水産整備課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

令和元年度に施行された「森林経営管理法」に基づき、私有林の適切な管理が図られるよう森林経営管理システムを構築し、森林が有する多面的機能の増進を図る。

《事業内容》

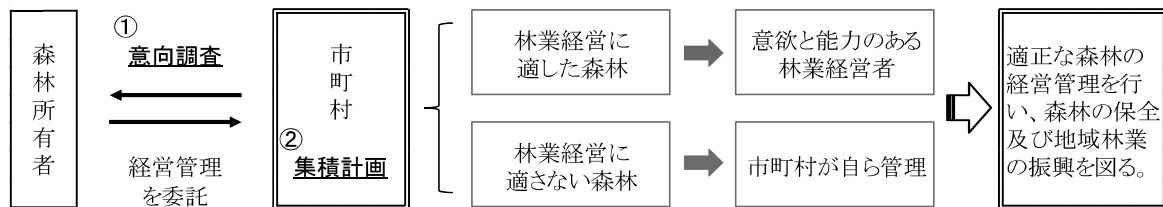
- ①森林経営管理制度意向調査業務（事業期間：R2～R11）【R3事業費12,000千円】
意向調査年次計画(10カ年)に基づき、森林所有者へ経営管理委託の意向調査を実施。
- ②森林経営管理集積計画作成業務（事業期間：R3～R12）【R3事業費10,000千円】
意向調査結果①に基づき、市への経営管理委託を希望する森林の現地調査を行い、森林経営管理権集積計画作成。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
市内の森林整備面積	ha	516	980	1,255	1,534

◆参考情報

森林経営管理制度(新たな森林経営管理システム)の概要



対象: 森林法第5条第1項に規定する森林で私有林の人工林

◆予算情報

(単位: 千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		11,220	12,000	22,000	22,000	22,000
主要な経費	委託料	11,220	12,000	22,000	22,000	22,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	11,220	12,000	22,000	22,000	22,000

事業名	川棚漁港施設機能強化事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 漁港管理費		
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興		
担当課名	農林水産整備課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

冬季風浪等の影響により、船舶の出入港や係留に支障をきたすとともに、漁港施設の水没や漁港区域内の土砂堆積などにより、漁港機能の低下が進んでいる川棚漁港について、漁港施設の機能診断結果に基づく漁港機能の強化を図るため、整備工事に必要となる実施設計を行う。



◆施設の概要、計画等

- 事業期間 令和2年度～令和7年度
- 対象施設（建築年数）
北防波堤L=60.0m(60年)、B防波堤L=87.0m(69年)、
H護岸L=127.0m(64年)、J護岸L=24.0m(60年)、
-2.0m物揚場L=172.5m(58年)、-2.5m物揚場L=25.0m(37年)
- R3年度事業の概要
 - ・ 事業内容 防波堤、物揚場等の施設整備工事に係る実施設計
 - ・ 事業費 35,000千円
 - ・ 負担割合 県支出金50%、市費50%（うち市債90%）
（財源内訳）

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			35,000	35,000	205,000	219,000
主要な経費	委託料		35,000	35,000		
	工事費				205,000	219,000
財源	国庫・県支出金		17,500	17,500	102,500	109,500
	市債			15,700	92,200	98,500
	その他特定財源					
	一般財源		17,500	1,800	10,300	11,000

		担当課名	水産振興課
事業名	下関市栽培漁業センター運営業務		
事業概要	下関市の栽培漁業の拠点として、管内沿岸漁業の振興、栽培漁業の定着・拡充、水産資源の維持増大を図るため、アワビ等の中間育成事業、アカウニの種苗生産事業等を実施する。		
見直し内容	栽培漁業センターの役割を踏まえ、事業内容の重点化を図った上で、人件費を除く運営経費を種苗売払収入で賄えるよう、歳出削減を図る。		
効果額	3,933千円		

		担当課名	農林水産整備課
事業名	所管施設に対する命名権設定（森の家下関）		
事業概要	森の家下関の長期的、継続的な運営基盤を確立するための新たな財源を確保し、施設の魅力向上により市民サービスの向上を図るため、ネーミングライツ（法人の法人名等を愛称として付与する権利）を導入する。		
見直し内容	ネーミングライツ・パートナーの募集を行い、森の家下関の命名権を付与する。		
効果額	550千円		

観光スポーツ文化部

事業名	コンベンション等誘致促進業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

地域への経済波及効果の高いMICE(学会・大会等のコンベンション)の誘致や、「しものせき観光キャンペーン」の推進による観光客誘致などを通じて、観光・宿泊・飲食業界等の活性化に取り組み、本市観光振興の中心的役割を果たしている(一社)下関観光コンベンション協会に支援を行い、更なる地域活性化を図る。



◆事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
コンベンション開催件数	件	33	50	20	

◆参考情報

◎継続して実施している事業

- ・観光ガイド養成講座等のホスピタリティ推進事業
- ・先帝祭等の郷土芸能保存継承事業 など

◎コンベンション誘致

- ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大により中止及び延期となり実績なし。
- ・令和3年度 (予定)
 第9回日本感染管理ネットワーク学会学術集会(5/14~15) 約1,000人
 ライオンズクラブ国際協会336複合地区第67回年次大会(5/23) 約1,500人

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		33,170	28,670	28,000	未定	未定
主要な経費	補助金	33,170	28,670	28,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)	5,000	5,000			
	一般財源	28,170	23,670	28,000		

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

「下関市観光交流ビジョン2022」に基づき、滞在型観光都市への飛躍を目指し、官民で行う観光振興事業。実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、下記事業の展開と感染拡大予防との両立を図る。

- ・祭りや各種イベントを通じた様々な交流人口拡大施策の展開
- ・ホームページ、SNS等の媒体を活用した効果的・効率的な広告宣伝及び情報発信
- ・各種キャンペーン事業や観光誘致活動に取り組む各種団体への支援



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
通年型観光客数 (暦年・実人数)	千人	4,875	6,400	7,200	8,000

◆参考情報

【観光客数】

(=通年型観光客数+季節型観光客数)

(単位：千人)

	H29	H30	R1
観光客数	7,055	7,003	7,112
通年型観光客数	4,832	4,760	4,875
季節型観光客数	2,223	2,243	2,237

【宿泊客数】

(単位：千人)

H29	H30	R1
809	813	800

通年型観光客数：年間を通じて観光できるスポットへの観光客数
 季節型観光客数：祭りやイベント等、時期が限定される行事の観光客数

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		77,556	81,097	70,242	未定	未定
主要な経費	委託料	16,989	17,605	16,589		
	負担金及び補助金	58,027	61,004	51,406		
	その他	2,540	2,488	2,247		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金・寄附金等)	51,620	50,381	1,391		
	一般財源	25,936	30,716	68,851		

事業名	広域観光振興業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第1章 第4節 連携・交流の推進		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

広域観光の事業展開、県内外近隣自治体との密接な広域連携により観光客誘致を図る。また、広域的に観光宣伝等を行うことで、滞在時間延長を促進し、宿泊客増加を図る。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
関門連絡船利用者数（暦年）	人	643,630	572,000	322,000	

◆参考情報

【主な施策（令和2年度）】
 関門海峡観光推進協議会：観光ブース出展、交通機関デジタルサイネージ、SNSを活用した観光PR及び関門エリア周遊マップ・チラシ作成等
 地方創生推進交付金事業：関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業
 多言語対応アプリケーションなどによる観光情報発信事業
 ビッグデータ等を活用した戦略的観光振興事業
 長州路観光連絡会：山口県西部ドライブスタンプラリー開催
 山陰線観光列車「〇〇のはなし」を活用した観光PR

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		19,306	15,712	6,084	未定	未定
主要な経費	旅費及び手数料	1,153	800			
	委託料	6,357	3,000			
	負担金及び補助金	11,796	11,912	6,084		
財源	国庫・県支出金	5,591	3,900			
	市債					
	その他特定財源 （基金繰入金）	1,500	1,000			
	一般財源	12,215	10,812	6,084		


事業名	国際観光対策業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

新型コロナウイルス感染症収束後の反転攻勢に備え、収束状況を見定め、外国人観光客誘致のために、国内外で開催される観光展・商談会への参加及び旅行会社へのセールスを行う。

また、山口県及び近隣他都市と協力し、国内外のインフルエンサー及び海外メディア等を活用したFAMツアーを実施し、本市の情報発信に努める。

更に、本市への観光意欲を醸成するため、SNS（フェイスブック、インスタグラム等ソーシャルネットワークサービス）等を用い、PRをより一層強化していく。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
外国人宿泊客数（延人数）	人	23,486	37,000	1,000	

◆参考情報

下関港外国人正規入国者数

	平成29年	平成30年	令和元年
下関港入国者数	94,406人	78,791人	41,310人

※法務省 出入国管理統計統計表より抜粋

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		8,225	10,961	9,056		
主要な経費	旅費	1,581	1,901	1,264		
	委託料	4,027	4,762	5,145		
	負担金及び補助金	2,425	3,936	2,388		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,225	10,961	9,056		

事業名	スポーツイベント開催業務		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	平成20年度

◆事業の概要

ツール・ド・しものせき、下関海響マラソン等の大型スポーツイベントの開催や海響アスリート認定制度を通じて、交流人口の拡大及び市の活性化を図るとともに、観光交流都市下関を全国へアピールし、スポーツの振興に寄与する。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
ランニング専門のインターネットサイトにおける下関海響マラソンの総合評価の点数	点	83.8	97.0	90.0	

◆参考情報

令和3年度事業概要

- 【ツール・ド・しものせき2021】
- ・開催日 2021年6月20日（日）
 - ・定員 ロングコース 1,000人（うち下関市民枠 100人）
 - ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため種目・定員を縮小

- 【下関海響マラソン2021】
- ・開催日 2021年11月7日（日）
 - ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため種目・定員を縮小

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		23,340	23,867	22,777	22,777	22,777
主要な経費	下関海響マラソン実行委員会負担金	11,700	12,000	12,000	12,000	12,000
	ツール・ド・しものせき実行委員会負担金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	海響アスリート制度ほか	9,640	9,867	8,777	8,777	8,777
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源（寄附金）	3,120	3,670	3,670	3,670	3,670
	一般財源	20,220	20,197	19,107	19,107	19,107

事業名	スポーツ合宿等誘致推進事業		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和元年度

◆事業の概要

東京オリンピック・パラリンピック等の開催を好機と捉え、市民のスポーツ実施率の向上を目指し、「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動への参加を促進するとともに、施設の有効活用と競技の普及・定着を通して交流人口の拡大や地域の活性化につなげるため、市内の体育施設及び宿泊施設を利用したスポーツ合宿を行う団体に対し、宿泊費の一部を補助するもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
延べ宿泊数	泊	663	1,100	1,100	

◆参考情報

■補助対象者

①スポーツ団体

小学生、中学生、高校生、大学生及び社会人が所属する市外の運動部・運動団体

②トップスポーツ団体

2020東京オリンピック・パラリンピック実施種目等に係る全日本強化指定選手及び各国代表選手が所属する市外の運動部・運動団体

■補助金額

①スポーツ団体（1回目）1泊 1,000円/人（2回目）1泊 500円/人

②トップスポーツ団体（国内団体）1泊 2,000円/人（国外団体）1泊 3,000円/人

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		663	1,000	1,000	未定	未定
主要な経費	補助金	663	1,000	1,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	663	1,000	1,000		

事業名	プロ野球招致事業		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

横浜DeNAベイスターズの前身である「大洋ホエールズ」が本市で創設され、70周年を迎えた2019年に球団創設70周年記念事業として、創設の地「下関」でのオープン戦を開催（雨天中止）。これを一過性のものとせず官民連携でプロ野球を下関に招致していこうと立ち上げた「下関プロ野球招致実行委員会」の経費を負担するもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
観客及び関係者の数	人		13,400	13,400	13,400

◆参考情報

■過去の実績（平成30年度実績）

平成31年3月9日（土）シーモールホールにて 前夜祭 午後6時開催

平成31年3月10日（日）オーヴィジョンスタジアム下関にて 午後1時開催予定→雨天中止

マルハニチロPresents 70th ANNIVERSARY GAME

横浜DeNAベイスターズ 対 広島東洋カープ

令和元年度は、オリンピック開催に伴う試合数の減少により見送り。

■令和3年度想定

令和4年3月 横浜DeNAベイスターズ オープン戦招致・試合前日前夜祭開催

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			5,000	5,000	未定	未定
主要な経費	実行委員会負担金		5,000	5,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 （基金繰入金）		4,000			
	一般財源		1,000	5,000		

事業名	オリンピック・パラリンピック関連業務		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	平成30年度

◆事業の概要

本市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、平成30年8月にトルコ共和国のホストタウンに登録、平成31年3月にトルコ柔道連盟と事前キャンプに係る協定を締結、更に準備業務として令和元年8月には2019世界柔道選手権大会における事前キャンプを受け入れている。



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い1年延期された大会に係る「トルコ柔道チーム事前キャンプ」、「オリンピック聖火リレー」、「パラリンピック聖火フェスティバル(採火式)」、「オリンピック応援事業」を実施するもの。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
オリンピック・パラリンピック関連行事参加者数（観戦者数含む）	人			1,250	

◆参考情報

<p>トルコ柔道チーム事前キャンプ 期日：令和3年7月中旬(14日間) 会場：山口県立下関武道館 人数：20人（選手6人含む関係者）、交流：市民交流事業</p>	<p>オリンピック聖火リレー 期日：令和3年5月14日(金) ルート：姉妹都市ひろば～オーヴィジョン海峡ゆめ広場 ※コース沿道対応のボランティアを募集 約250人</p>
<p>パラリンピック聖火フェスティバル(採火式) 期日：令和3年8月中旬 会場：下関市立考古博物館(予定) ※採火イベントの参加者を募集 約50人</p>	<p>オリンピック応援事業 期日：令和3年7月下旬 ※柔道競技日程 会場：山口県立下関武道館(予定) 内容：パブリックビューイング、懸垂幕作製</p>

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		13,530	25,652	39,891	未定	未定
主要な経費	委託料	11,049	18,210	33,504		
	負担金	220	4,295	3,068		
	その他	2,261	3,147	3,319		
財源	国庫・県支出金			15,000		
	市債					
	その他特定財源(諸収入)	500	500	796		
	一般財源	13,030	25,152	24,095		

事業名	豊北総合運動公園テニスコート照明灯改修工事		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和3年度

◆事業の概要

豊北総合運動公園テニスコートの照明灯について、老朽化が著しく危険であること、また、電気料金に係る費用削減効果等も期待できることから、LED照明への更新を行うもの。



◆施設の概要、計画等

- 事業年度 令和3年度
- 改修概要等
 - 設置年月 平成4年4月
 - 施設概要 砂入人工芝コート4面、壁打1面、夜間照明、更衣室・用具室
 - 改修内容 照明灯改修（4面分、17基、計32灯）
 - 工事内訳 電気設備工事 一式（工事期間 3～4ヶ月）

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費				30,000		
主要な経費	工事請負費			30,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (諸収入)			20,000		
	一般財源			10,000		

事業名	エキマチ広場周辺にぎわい創出イベント企画運営業務（文化芸術版）		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 芸術文化振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興		
担当課名	文化振興課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

令和元年度から実施されている「エキマチ広場周辺にぎわい創出イベント事業」において、芸術や文化部門のイベントを開催することで、芸術文化の振興とともに、新たな客層の創出・誘引を図り、継続的にぎわいの創出につなげる。



ワークショップブース

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
歩行者通行量（休日、下関駅にぎわいプロジェクト地区）	人		20,437	20,437	20,437

◆参考情報

【令和2年度 事業概要】

＜屋外事業＞

- ・親子で参加できるイベント（ワークショップ・コンサートなど）

＜屋内事業＞

- ・展示イベント（書道展・下関ゆかりの先人パネル展など）※R3.2開催予定

【令和3年度 事業概要】

＜屋外・屋内事業＞

- ・親子で参加できるイベント（ワークショップ・コンサートなど）
- ・文化芸術イベント（バレエ・ダンスステージなど）
- ・展示イベント（書道展・いけばな展など）

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			2,000	2,000	2,000	
主要な経費	委託料		2,000	2,000	2,000	
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 （基金繰入金）		2,000			
	一般財源			2,000	2,000	

○せんたく会議見直し事業

		担当課名	観光施設課
事業名	つのしま自然館管理運営業務		
事業概要	山口県の施設である「角島ビジターセンター（つのしま自然館）」の管理運営を、本市が指定管理者となり実施するもの。		
見直し内容	来館者が少ない閑散期において、業務日数を見直し、人件費を抑える。		
効果額	59千円		

		担当課名	スポーツ振興課
事業名	県立下関武道館管理運営業務		
事業概要	山口県の施設である「下関武道館」の管理運営を、本市が指定管理者となり実施するもの。 ※施設の維持管理については県がPFI事業で実施する範囲を除く		
見直し内容	本市の指定管理期間及び山口県のPFI事業が令和2年度で終了するため、令和3年度より、本市が指定管理者として施設を管理運営するのではなく、県に運営費の一部を負担金として支払うこととした。		
効果額	6,995千円		

建設部

事業名	道路整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費		
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

社会資本整備総合交付金等を活用した、生活道路の整備を行うことにより、交通渋滞の解消、歩行者の安全確保、アクセス性の向上を促進する。



◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
小月小島線	バイパス L=0.6km	平成25年度 ~ 令和9年度
延行・郷線他	現道拡幅 L=1.1km	平成25年度 ~ 令和5年度
武久町85号線	新設改良 L=1.1km	平成23年度 ~ 令和5年度

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		103,249	92,000	111,750	110,000	254,094
主要な経費	小月小島線	23,837	34,500	57,500	77,000	220,000
	延行・郷線他	75,630	34,500	42,750	22,000	23,094
	武久町85号線	3,783	23,000	11,500	11,000	11,000
財源	国庫・県支出金	53,286	41,500	49,250	51,000	116,601
	市債	44,700	45,400	56,100	53,100	123,700
	その他特定財源					
	一般財源	5,263	5,100	6,400	5,900	13,793

事業名	地域道路整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費		
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

過疎債を活用した生活関連道路等の整備を行うことにより、これらの地域の自立促進を図り、地域格差の是正を図るとともに、住民福祉の向上を促進する。



角島大橋線施工状況

◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
角島大橋線	新設改良 L=1.0km	平成23年度 ~ 令和3年度
中村長正司線	舗装・側溝改良 L=1.1km	平成27年度 ~ 令和6年度

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		264,061	359,300	181,300	55,000	60,000
主要な経費	角島大橋線	164,670	299,400	133,300		
	中村長正司線	42,935	55,000	48,000	55,000	60,000
財源	国庫・県支出金					
	市債	263,700	359,300	181,300	55,000	60,000
	その他特定財源					
	一般財源	361				

事業名	街路整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 街路事業費		
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

社会資本整備総合交付金等を活用した、幹線街路（都市計画道路）の整備を行うことにより、交通渋滞の解消、交通安全の確保、物流の円滑化の促進、都市景観の再生を促進する。



◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
武久幡生本町線	バイパス L=0.2km	平成25年度 ~ 令和5年度

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		366,062	540,850	438,000	121,000	55,000
主要な経費	武久幡生本町線	364,867	540,850	438,000	121,000	55,000
財源	国庫・県支出金	173,856	238,500	180,000	55,000	25,000
	市債	172,200	272,100	232,200	59,400	27,000
	その他特定財源					
	一般財源	20,006	30,250	25,800	6,600	3,000

事業名	交通安全施設等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全施設整備事業費		
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

社会資本整備総合交付金等を活用した、歩道等の交通安全施設整備を行うことにより、歩行者をはじめ道路利用者が安心して安全に通行することのできる道路空間を確保する。

また、通学路の速度抑制対策として、横断歩道のカラー標示等の整備や、市街地の視覚障害者誘導ブロックの整備など交通安全対策を推進する。



通学路の安全確保(歩道整備)

◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

路線名等	事業内容	事業予定年度
高尾・幡生線	歩道整備 L=1.5km	平成24年度～令和5年度
向洋町3号線	歩道整備 L=0.3km	平成24年度～令和3年度
棕野・伊倉線	歩道整備 L=1.1km	平成24年度～令和5年度
眞光・清末線他	歩道整備 L=0.2km	平成28年度～令和5年度
宇部線(高機折第1踏切)	歩道整備 L=0.5km	平成30年度～令和7年度
勝山秋根本町2号線ほか	カラー舗装等 対策エリア A=35ha	令和2年度～令和4年度
清末西町3号線ほか	カラー舗装等 対策エリア A=28ha	令和2年度～令和5年度
中道線	歩道整備 L=0.4km	平成26年度～令和5年度
視覚障害者誘導ブロック改良事業	視覚障害者誘導ブロック整備	令和元年度～令和3年度
通学路等速度抑制対策事業	横断歩道カラー標示、路側整備等	令和元年度～令和3年度

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		263,645	310,370	242,051	482,875	586,816
主要な経費	高尾・幡生線	61,421	48,000	57,500	55,000	55,000
	宇部線	10,262	16,750	44,000	55,000	330,000
	向洋町3号線	18,033	26,000	25,000		
財源	国庫・県支出金	116,186	146,520	113,738	244,680	297,998
	市債	118,700	138,200	103,700	214,000	259,700
	その他特定財源 (財産収入、基金繰入金)	4,000	5,000	2,822		
	一般財源	24,759	20,650	21,791	24,195	29,118

事業名	道路ストック老朽化対策事業【道路附属物等】		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費		
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

道路更新防災等対策事業費補助金等を活用し、道路附属物等の点検や改修工事などを実施することにより、安全・安心な道路環境を確保する。



◆施設の概要、計画等

■【令和3年度に実施する老朽化対策事業等】

事業名	事業予定年度
日本セレモニーウォーク 〈下関駅前人工地盤〉昇降機改修事業	平成29年度 ~ 令和7年度
典礼会館小月歩道橋補修	令和3年度

■【継続費の設定】

事業名	総額	設定年度
日本セレモニーウォーク〈下関駅前人工地盤〉昇降機改修事業（第1工区） ※シーモール前・グリーンモール前	551,250千円	令和3年度 ~ 令和5年度

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		322,619	186,000	98,620	467,000	267,000
主要な経費	日本セレモニーウォーク(下関駅前人工地盤)昇降機改修事業		7,000	62,920	425,000	225,000
	典礼会館小月歩道橋補修			35,700		
財源	国庫・県支出金	167,295	90,250	49,039	252,000	103,500
	市債	121,300	76,900	44,600	193,500	147,100
	その他特定財源					
	一般財源	34,024	18,850	4,981	21,500	16,400

事業名	道路ストック老朽化対策事業【橋梁等】		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 橋りょう維持費		
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

道路更新防災等対策事業費補助金等を活用し、「下関市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づいて、橋梁等の定期的な点検や修繕工事などを実施することにより、安全・安心な道路環境を確保する。



◆施設の概要、計画等

■橋梁長寿命化事業

道路施設の機能を長期的に維持するとともに、維持管理コストの平準化と縮減を図ることなどを目的に策定した「下関市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づいて、修繕工事等を行うもの。

計画期間：令和2年度～（10年間）

対象施設：1,512橋

■ストック点検事業

法令に基づき、市道に架かる道路橋、横断歩道橋及びトンネルを定期的に点検するもの。

- ・橋梁 : 1,512 橋
 - ・横断歩道橋 : 6 施設
 - ・トンネル : 2 箇所
- (5年間1サイクルで継続的に実施)

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		569,378	616,725	489,830	433,555	620,901
主要な経費	橋梁長寿命化事業	367,734	494,725	353,980	314,555	589,901
	ストック点検事業	63,571	80,000	118,000	98,000	31,000
財源	国庫・県支出金	286,264	322,575	254,430	232,954	335,994
	市債	226,500	235,800	169,000	141,200	248,300
	その他特定財源					
	一般財源	56,614	58,350	66,400	59,401	36,607

事業名	浸水対策事業		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川新設改良費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

家屋や道路など浸水・冠水被害軽減のため、社会資本整備総合交付金を活用した浸水対策工事を実施するとともに、浸水被害地域の水路調査を行い、雨水排水施設の整備を計画的に推進する。



◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
大学町・熊野線	水路整備 L=0.2km	平成28年度 ~ 令和3年度
後田町9号線	水路整備 L=0.5km	平成27年度 ~ 令和6年度

■単独事業

区分	箇所名	事業内容
浸水対策工事	下岡枝地区	水路整備
	矢田・西市地区	水路整備
水路網調査業務		

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		145,450	172,341	38,050	55,000	35,000
主要な経費	大学町・熊野線	16,774	54,450	20,750		
	後田町9号線	32,653	36,600	5,100	55,000	35,000
財源	国庫・県支出金	60,581	76,550	9,350	27,500	17,600
	市債	59,500	75,100	14,800	24,700	15,600
	その他特定財源					
	一般財源	25,369	20,691	13,900	2,800	1,800

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 急傾斜地崩壊対策事業費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

崩壊危険区域として指定された急傾斜地の崩壊防止対策を行い、住民生活の安定と安全性の向上を図る。



◆施設の概要、計画等

【令和3年度の主な事業】

■小規模急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	事業内容	事業予定年度
彦島本村町(一)(13)	吹付法枠工 L=66m	令和3年度 ~ 令和4年度
長府安養寺(一)(9)	吹付法枠工 L=35m	令和3年度 ~ 令和4年度

■県施工工事費負担金

- 令和3年度に県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する市負担金

◆予算情報

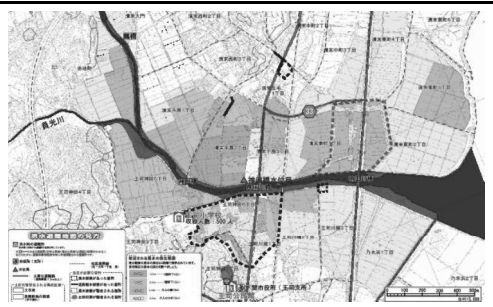
(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		162,023	84,600	86,700	136,000	41,000
主要な経費	彦島本村町(一)(13)			20,400	65,000	
	長府安養寺(一)(9)			15,300	30,000	
	負担金	44,366	41,000	41,000	41,000	41,000
財源	国庫・県支出金	76,287	21,500	22,500	47,500	
	市債	69,800	61,600	64,200	88,500	41,000
	その他特定財源(分担金)	3,169				
	一般財源	12,767	1,500			

事業名	洪水ハザードマップ作成業務		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川総務費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

平成27年の水防法改正により、山口県が令和3年3月以降に川棚川・粟野川・神田川について想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域の指定を行う予定であることから、当該指定に基づき、平成14年、平成21年に作成した洪水ハザードマップの更新を行い、河川の周辺住民等に周知を行うもの。



◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
洪水ハザードマップ作成河川数	河川		5	8	8

◆参考情報

- 綾羅木川・友田川・武久川・木屋川・田部川については、令和2年度に洪水ハザードマップを作成し、令和3年度に配布予定
- 川棚川・粟野川・神田川については、令和3年度に洪水ハザードマップを作成し、令和4年度に配布予定

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			16,500	15,000		
主要な経費	委託料		16,000	14,200		
	報償費		396	594		
	旅費		104	189		
財源	国庫・県支出金		8,000	7,100		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		8,500	7,900		

事業名	緊急浚渫推進事業		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川維持費		
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備		
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和2年度

◆事業の概要

緊急浚渫推進事業債を活用し、早急に対策が必要な河川の浚渫を実施し、通水機能を確保するもの。



◆施設の概要、計画等

堆積土砂対策を計画的に実施する。
河道内の土砂の堆積状況などから優先順位をつけ、16河川について実施する。

計画河川数 57河川
R2 3河川
R3 16河川
R4 9河川
R5 12河川

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費			30,500	279,400	205,000	150,000
主要な経費	工事請負費		30,000	272,000	205,000	150,000
	人件費		200	5,550		
	事務費		300	1,850		
財源	国庫・県支出金					
	市債		30,500	279,400	205,000	150,000
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	市道重点改修事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費		
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備		
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和3年度

◆事業の概要

公共施設等適正管理推進事業債を活用し、緊急輸送道路（市内の44路線）等の重要道路のほか、供用開始から30年以上経過し、老朽化した道路施設の水準を維持するため、計画的な舗装改修を行う。

◆施設の概要、計画等

舗装の全面打ち換え、部分的な区間の打ち換え、オーバーレイなどの実施。
わだち掘れやひび割れなどが顕著な路線から、優先順位を決めて実施する。



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費				43,000	未定	未定
主要な経費	工事請負費			42,000		
	人件費			800		
	事務費			200		
財源	国庫・県支出金					
	市債			38,700		
	その他特定財源					
	一般財源			4,300		

事業名	民間住宅対策業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成25年度

◆事業の概要

《主な事業》

◆住宅活用支援事業

住宅等の利活用を促し良好な住環境の整備を図るため、住宅等の問題解決、利活用の促進に取り組む団体活動を支援する。

◆移住者向け住宅購入支援事業

人口定住につながる住宅の確保を支援し、まちなにぎわい創出と良質な住宅ストック形成を図る。

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
住宅購入支援件数 (当該年度)	件	0	20	20	

◆参考情報

移住者向け住宅購入支援事業の概要

世帯区分	補助額	+	加算区分（重複可）	加算額
中学生以下の子がいない世帯	30万円		三世帯同居・近居の場合	30万円
			居住誘導区域の場合	20万円
世帯区分	補助額	+	加算区分（重複可）	加算額
中学生以下の子が1人いる世帯	60万円		中学生以下の子2人以降、1人につき	20万円
			三世帯同居・近居の場合	30万円
			居住誘導区域の場合	20万円

※1世帯あたり、100万円が上限です。（加算を含む）

◆予算情報

（単位：千円）

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		1,063	23,577	21,548	未定	未定
主要な経費	住宅活用支援事業		400	400		
	移住者向け住宅購入支援事業		20,000	20,000		
財源	国庫・県支出金	717	9,000	9,730		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	346	14,577	11,818		

事業名	空き家対策業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成24年度

◆事業の概要

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、特定空家等に対しては、現地及び所有者等調査、助言、指導等により、また管理不適切空家等に対しては、助言等により適切な管理に導くもの。

既に危険な空き家に対しては、市民生活の安全・安心と良好な生活環境の確保を図るため、除却費用を補助する。

また、空き家の利活用を図るために、空き家バンク事業を実施し、空き家の改修費用や管理費用を補助するとともに、空き家跡地の有効活用を図るため跡地活用を伴う空き家の除却費用を補助する。

さらに、今年度策定予定の空家等対策計画において、重点対象地区を設定して、地区内の空き家の解体や利活用に重点的に取り組んでいくもの。



出典：国土交通省中国地方整備局HP

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	R1	R2	R3	最終年度
危険家屋除却件数 (当該年度)	件	21	30	30	

◆参考情報

下関市の空き家の現状（平成25年及び平成30年住宅・土地統計調査 総務省）

	平成25年		平成30年
総住宅数	139,560戸	→	141,430戸
空家数	22,830戸	→	26,230戸
賃貸、売却用等空家	10,970戸	→	12,690戸
その他の空家	11,860戸	→	13,540戸
うち腐朽・破損あり	5,770戸	→	4,520戸

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		19,288	21,600	26,886	未定	未定
主要な経費	空き家居住促進改修補助金	2,713	2,400	2,400		
	空き家管理・流通促進支援事業補助金	381	480	480		
	危険家屋除却費補助金	8,101	14,000	14,000		
財源	国庫・県支出金	8,677	8,080	8,383		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	10,611	13,520	18,503		

事業名	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生業務		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成29年度

◆事業の概要

効果的かつ効率的な建替事業の推進を図り、もって安心して活気ある魅力的な住環境の整備に資することを目的に、下関駅周辺地区に位置する既存市営住宅等の更新と集約を図る。

また、地区全体の建替えの機運を醸成するため、令和2年度に策定した団地再生計画を活用し地元説明を行い、建替えに対する協力体制の構築に努めるとともに、市営住宅の入居者等に対し建替えに関する意向確認を実施する。

老朽化した竹崎改良住宅



◆施設の概要、計画等

○団地概要

- ・ 団地名 : 市営竹崎住宅(1)、市営長門改良住宅
市営竹崎改良住宅(2)～(6)、(10)、(13)～(15)
- ・ 総管理戸数 : 562戸
- ・ 建設年度 : 昭和35年度～昭和51年度

○主な事業計画

- ・ 平成29年度 権利関係の整理、再生手法の検討、事業イメージの構築 等
- ・ 平成30年度 自治会長と、市営住宅の課題等についての意見交換
- ・ 令和元年度 自治会長、管理人、店舗の組合長及び民生委員等と意見交換
- ・ 令和2年度 市営竹崎改良住宅(2)から(4)に係る団地再生計画の策定及び建替えに関する入居者等へのアンケートの実施
- ・ 令和3年度 団地再生計画を活用した地元説明及び建替えに関する入居者等への意向確認

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		858	10,000	101	未定	未定
主要な経費	委託料	858	10,000			
	建替えに関する意向確認			101		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源(使用料)	858	10,000	101		
	一般財源					

事業名	白雲台団地公営住宅等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成28年度

◆事業の概要

白雲台団地における公営住宅R1棟からR3棟までについて、PFI手法による建替事業を行い、団地の再生を図るもの。

令和元年12月18日に白雲台団地建替事業（1期）に係る特定事業契約を締結し、令和3年度は新しい住宅の建設工事に着手する。

【白雲台団地】

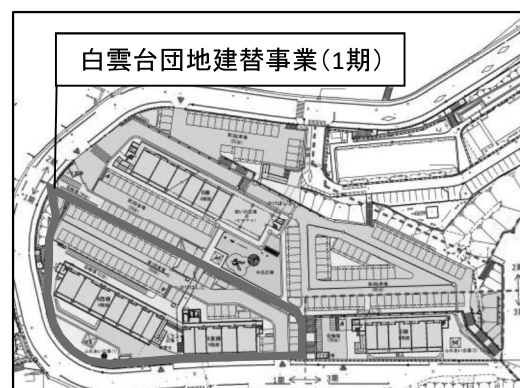


◆施設の概要、計画等

○計画概要

【白雲台団地建替事業（1期）】

- ・建替対象住棟：R1棟、R2棟、R3棟
- ・整備棟数（戸数）：1棟（108戸）
- ・住戸タイプ 1DK（36戸）
2DK（45戸）
3DK（27戸）
- ・事業期間：令和元年12月18日から
令和4年12月28日まで
- ・業務内容：（令和元年度から令和2年度）
現地調査、設計、仮移転
既存建物の解体
（令和3年度）
建設工事
（令和4年度）
建設工事、本移転



◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		14,228	180,000	853,073	684,055	
主要な経費	委託料	14,228	172,340	852,588	658,072	
	移転補償金		7,218		25,983	
財源	国庫・県支出金	4,064	88,580	426,293	338,127	
	市債		86,400	426,700	329,400	
	その他特定財源 (使用料)	10,164	5,020	80	16,528	
	一般財源					

事業名	公営住宅等ストック総合改善事業		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成17年度

◆事業の概要

下関市公営住宅等長寿命化計画に基づき、躯体の耐久性の向上を図るため、市営住宅等の外壁改修工事、防水改修工事及び屋根仕上材改修工事を実施するもの。

また、入居者の居住性の向上を図るため、長府前八幡(2)住宅のエレベーター設置工事を実施するもの。

新地(2)(現況外観)



豊(現況外観)



◆施設の概要、計画等

実施住宅	建設年度(築年数)	構造等	外壁	防水	屋根	エレベーター
長府前八幡(2)	昭和56年度 築40年	中層耐火5階建				1棟
春日改良(10)	昭和60年 築36年	高層耐火6階建	1棟	1棟		
新地(2)	昭和61年 築35年	中層耐火5階建	1棟		1棟	
大学町R1	平成3年 築30年	中層耐火3階建			1棟	
豊	平成2年 築31年	高層耐火8階建			1棟	
細江	昭和59年 築37年	高層耐火10階建		1棟		
新地(1)	昭和61年 築35年	高層耐火11階建		1棟		

◆予算情報

(単位：千円)

年度		R1決算	R2予算	R3予算	R4予定	R5予定
事業費		260,785	413,800	235,000	未定	未定
主要な経費	工事請負費	252,404	400,000	235,000		
	委託料	8,381	13,800			
財源	国庫・県支出金	142,544	168,200	38,000		
	市債	118,200	245,600	197,000		
	その他特定財源 (使用料)	41				
	一般財源					

